ボーリング柱状図

調　査　名　福岡高速道路地質調査業務（その1）

ボーリングNo.

事業・工事名

シート No.

ボーリング名	No.7	調査位置	福岡市東区香椎浜1丁目～香椎浜ふ頭1丁目地内			北緯	33° 39’ 21.4123”
発注機関	福岡北九州高速道路公社			調査期間	平成 25年 2月 1日 ～ 25年 2月 5日	東経	130° 25’ 53.2685”
調査業者名	株式会社九州地質コンサルタント 電話（092-586-0262）	主任技師	柏原 昇	現場管理人	佐藤正之	コア鑑定者	佐藤正之
						ボーリング責任者	山田孝弘
孔口標高	2.78m	角度	180°上 90° 下0°	方向	北0° 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	鉛直90° 水平0°
総掘進長	17.09m					使用機種	試錐機：YBM-05DA　ハンマー落下用具：トンビ　エンジン：NFD-80　ポンプ：GP-5

標尺(m)	標高(m)	層厚(m)	深度(m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	2.38	0.40	0.40		シルト混り砂	茶褐			真砂土による表土 細粒～中粒砂主体で、φ5～30mm位の礫混入する
1	1.68	0.70	1.10		礫混り砂	暗茶灰			中粒～粗粒砂主体の埋土 φ5～50mm位の礫混入する
	1.23	0.45	1.55		砂質粘土	暗灰			埋立土 細砂を不規則に混入し不均質である
2					礫粘土混り砂	暗灰～茶褐灰			浚渫土による埋土と思われる 粗中砂を主体とするが、所々砂質粘土の薄層を不規則に挟む 全般にφ5～30mm位の礫を混入する 所々、貝殻片混入 3.8～3.9m間に径80～90mm位の巨礫点在する
3									
4									
5	-2.97	4.20	5.75						
6					粘土	暗灰～淡青灰			海成粘土で含水多く軟らかい 砂分の混入少なく軟質 貝殻片を少量混入する 8.8m付近より含水少なく凝固する
7									
8									
9	-6.52	3.55	9.30						
	-6.92	0.40	9.70		礫粘土混り砂	暗灰			粘土分多く混入し分級淘汰が悪い 粗中砂主体で、φ2～30mm位の礫混入
10					砂礫	淡青灰			φ5～50mm位の硬質礫を多量混入する マトリックスは粘土混り砂
	-7.92	1.00	10.70						
11					強風化頁岩	灰			風化進行し、硬質粘土状を呈する 12.5m付近よりやや硬質となるが亀裂多く、亀裂面は所々褐色化する
	-9.22	1.30	12.00						
12					風化頁岩	青灰			風化進行するが、岩組織は明瞭である 亀裂少なく、概ね柱状コアで採取される ハンマーの軽打で割れる程度 15cm以深はヘアクラックが多く見られる
13									
14									
15	-13.02	3.80	15.80						
16	-13.72	0.70	16.50		風化砂質頁岩	青灰			風化するが柱状コアで採取される ハンマーの軽打で割れる程度
17	-14.31	0.59	17.09		細粒砂岩	青灰			中風化した岩でやや硬質 柱状コアで採取され、ハンマーの軽～中打で割れる硬さ
18									

孔内水位(m)／測定月日：2/1 1.45

標準貫入試験

深度(m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
2.15	2	2	2	6/30	6
2.45 / 3.15	1	1	1	3/30	3
3.45 / 4.15	2	1	2	5/30	5
4.45 / 5.15	1	2	2	5/30	5
5.45 / 6.15	1/15	1/15		2/30	2
6.45 / 7.15	1/15	1/15		2/30	2
7.45 / 8.15	1/20	1		2/30	2
8.45 / 9.15	3	2	2	7/30	7
9.45 / 10.15	10	9	6	25/30	25
10.45 / 11.15	12	16	20	48/30	48
11.45 / 12.15	17	29	4/1	50/21	71
12.36 / 13.15	29	21/7		50/17	88
13.32 / 14.10	50/8			50/8	188
14.18 / 15.05	50			50/10	150
15.15 / 16.05	50/7			50/7	214
16.12 / 17.00	50/9			50/9	167
17.09					

原位置試験

深度(m)	試験名および結果
4.00	現場透水試験
4.50	
6.50	孔内水平載荷試験

試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
4.15	P7-1		密度含水粒度	2/1
4.45				
7.00	TW7-1	①	密度含水粒度液性塑性一軸	
7.80				
9.30	P7-2		密度含水粒度	2/2
9.70				
				2/4
				2/5

・本資料は、工事等により現況と整合しない場合があり、現在の位置関係や地質状況などを特定するものではありません。
・本資料は、参考データとして利用し、現在の地質状況は、再度ボーリングを行う等して確認をお願いします。